

トピックス



夏休みキッズクッキング

7月25日、中央区保健所で小学生を対象とした「夏休みキッズクッキング」が行われました。参加した21人の子どもたちは、栄養バランスが取れた朝食作りを楽しみました。また、栄養士からの説明を通じて、家族と一緒に食事をする事の大切さなどを学びました。

中央区消費生活センターでは、都と連携して特別相談「多重債務110番」を実施します。区役所1階消費生活センターに直接お越しになるか、消費生活相談専用電話におかけください。多重債務問題は必ず解決できます。より良い解決方法を一緒に考えましょう。

多重債務110番

10月1日(日)から区内の主な書店および中央区観光協会が販売します(営業日に準じます)。

「歩いてわかる中央区ものしり百科」(限定千冊) 内容 中央区内の「まち歩き」

「過去問題集」 価格 1600円(税別) 内容 第七回から第九回に出題された300問を回答付きで掲載

「過去問題集」 価格 1600円(税別) 内容 第七回から第九回に出題された300問を回答付きで掲載

きくにも役立つ万能テキスト(第九回の過去問題集付き)です。

9月4日(月)・5日(火) 午前9時～午後4時 対象 区内在住・在勤・在学者 消費生活相談専用電話 (3543)0084 (3546)5727 中央区消費生活センター (3546)5332



中央区観光協会 (6228)7907 http://www.chuo-kanko.or.jp/ 中央区観光協会特派員ブログ http://tokuhain.chuo-kan.co.jp/

中央区観光協会 (6228)7907 http://www.chuo-kanko.or.jp/ 中央区観光協会特派員ブログ http://tokuhain.chuo-kan.co.jp/

中央区観光協会 (6228)7907 http://www.chuo-kanko.or.jp/ 中央区観光協会特派員ブログ http://tokuhain.chuo-kan.co.jp/

中央区観光協会 (6228)7907 http://www.chuo-kanko.or.jp/ 中央区観光協会特派員ブログ http://tokuhain.chuo-kan.co.jp/



海水館跡の記念碑

隅田川河口部に位置する佃地区は、中央大橋から約150m東の佃二丁目地先で隅田川の流れを東西に分流させる(東の隅田川派川は豊洲運河・晴海運河へと流れる)地形となつています。なお、明治中期以降に月島地域の埋め立て造成が実施されるまで、当該地区は石川島(現在の佃一丁目11番、同二丁目1・3番、2番の一部)と佃島(現在の佃一丁目1・10番)の2つの人工島で構成されてきました。

江戸の昔から人々の遊覧の地であった佃島は、とりわけその美しい景観が称賛されてきました。「江戸名所図会」に記された佃島の情景には、「弥生の潮乾には貴賤袖を交へて浦風に酔を醒し貝拾ひあるいは磯菜摘なんと其興殊におおひ月平沙を照しては漁火白く芦辺の水鶏波間の千鳥も共に此地の景色に入りて四時の風光足すとす事なし」とたたえられ、芭蕉の弟子・宝井其角の俳句「名月やここ住吉のつくたしま」も添えられて

この閑静で美しい風致景観を有する新佃島の立地を生かして、埋め立て間もない明治38(1905)年に割烹旅館「海水館」が開業しました。東京湾に面した新佃島東町一丁目の東岸に建てられた海水館は、仙台市の建物(料理屋から遊郭を経て廃業)を解体・移築(部材を再利用)してリノベーションした建物でした。約185坪の敷地に木造(総檜造)2階建て24の客間を有する豪勢な建物(建坪約130坪)が建てられ、外構を中心に門柱・敷石・土台・風呂などに至るまで宮城県産の粘板岩・稲井石(仙台石)とも称される石で独特の木目模様がある(をふんだんに用いたといわれています)。

海水館の周辺には、人家も少なく裏手には松林が広がり海側の座敷からは釣りまで楽しめるというアメニティー豊かな旅館でした。このため、風光明媚な新佃島の地、わけても割烹旅館の環境を愛してやまない文士・画家・俳優たちが数多く止宿し、創作活動や憩いの場、あるいはにぎやかな交流の場ともなりました。海水館に止宿した人々の中には、島崎藤村(詩人・小説家)・小山内薫(演出家・劇作家)・二代目市川左團次(歌舞伎俳優)・松崎天民(新聞記者・文筆家)・横山健堂(評論家)・三木露風(詩人)・吉井勇(歌人)・久保田万太郎(小説家・劇作家)・伊人(日夏歌之介)詩人・評論家)・佐藤惣之助(詩人)・竹久夢二(画家・詩人)・木村荘八(洋画家)などがおり、明治末から大正・昭和期にかけて活躍した著名人たちが名を連ねています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

海水館の周辺には、人家も少なく裏手には松林が広がり海側の座敷からは釣りまで楽しめるというアメニティー豊かな旅館でした。このため、風光明媚な新佃島の地、わけても割烹旅館の環境を愛してやまない文士・画家・俳優たちが数多く止宿し、創作活動や憩いの場、あるいはにぎやかな交流の場ともなりました。海水館に止宿した人々の中には、島崎藤村(詩人・小説家)・小山内薫(演出家・劇作家)・二代目市川左團次(歌舞伎俳優)・松崎天民(新聞記者・文筆家)・横山健堂(評論家)・三木露風(詩人)・吉井勇(歌人)・久保田万太郎(小説家・劇作家)・伊人(日夏歌之介)詩人・評論家)・佐藤惣之助(詩人)・竹久夢二(画家・詩人)・木村荘八(洋画家)などがおり、明治末から大正・昭和期にかけて活躍した著名人たちが名を連ねています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

島崎藤村は明治40年(1907)から約1年止宿しながら長編小説「春」を執筆し、藤村との交流から海水館に滞在することになった小山内薫も長編小説「大川端」をこの宿で執筆しています。また、小山内と新劇劇団「自由劇場」を結成した二代目市川左團次もしばしば芝居談議に訪れ、旅館全体が沸き返るような熱気に包まれたともいわれています。割烹旅館・海水館の建物は、大正12年(1923)の関東大震災で焼失しましたが、再建後に下宿旅館、アパート、そして現在は賃貸マンションに変容しながらもその名が引き継がれています。また、隅田川を臨む隣接地にも在りし日の海水館をしのぶ稲井石製の記念碑が建立されています。

めざせ!お江戸中央区「通」 第十回 「中央区観光検定」

中央区観光協会では、今年度も中央区観光検定を実施します。今回は第十回を記念した特別企画も実施します。2020年に向けて中央区のことを勉強してみませんか。75点以上の合格者には、名前入りの認定証「お江戸中央区「通」」を発行します。団体割引もあり

中央区観光協会では、今年度も中央区観光検定を実施します。今回は第十回を記念した特別企画も実施します。2020年に向けて中央区のことを勉強してみませんか。75点以上の合格者には、名前入りの認定証「お江戸中央区「通」」を発行します。団体割引もあり

中央区観光協会では、今年度も中央区観光検定を実施します。今回は第十回を記念した特別企画も実施します。2020年に向けて中央区のことを勉強してみませんか。75点以上の合格者には、名前入りの認定証「お江戸中央区「通」」を発行します。団体割引もあり

ちょっと知っ得! 区内の文化財 海水館跡

しめたというアメニティー豊かな旅館でした。このため、風光明媚な新佃島の地、わけても割烹旅館の環境を愛してやまない文士・画家・俳優たちが数多く止宿し、創作活動や憩いの場、あるいはにぎやかな交流の場ともなりました。海水館に止宿した人々の中には、島崎藤村(詩人・小説家)・小山内薫(演出家・劇作家)・二代目市川左團次(歌舞伎俳優)・松崎天民(新聞記者・文筆家)・横山健堂(評論家)・三木露風(詩人)・吉井勇(歌人)・久保田万太郎(小説家・劇作家)・伊人(日夏歌之介)詩人・評論家)・佐藤惣之助(詩人)・竹久夢二(画家・詩人)・木村荘八(洋画家)などがおり、明治末から大正・昭和期にかけて活躍した著名人たちが名を連ねています。